



KPニュースレター

2025 vol.02

こんにびあ。2020年の5月16日に発足したKP。5周年になりました。発足のころ、皆さんはどんなことされてましたか？

【5/23 KP病院訪問報告会・意見交換会をおこないました】

KP病院訪問（2024年度）の記録をまとめた「かながわ精神科病院訪問記VOL:02」を発行しました。訪問記には書ききれなかったことがたくさんあって、ぜひみなさんに聴いてもらいたい！そしてみなさんの声もお聴きしたい！当日は、60人を超える方に来場いただき協賛金付の参加費にもご協力いただきました。どうもありがとうございました。

KPからは藤井さん、稲川さん、三瓶、矢ヶ崎、濱田、奥原さん、島中さん、倉沢さん（話した順）からリレートークを行いました。



"私たちKPが病院訪問をすることの意義とは？"
"閉鎖性を打破したい、外から吹き込む風になりたい"
"大事にしたい「わたしたち（通院や入院するわたし、家族、友人、市民）の目線」"
"どんなふうに病院と対話をはじめているか（北風と太陽なら、太陽であればた…）"
"電話や面会が、どんなに大事なことから、スマホ利用は当たり前権利"
"認知症や高齢の方の入院や拘束が増えていること、どう考えたらいいだろう"
"いろいろな職員の声がきけたこと、これからも大事にしたい"



さまざまなテーマについて、訪問した立場や訪問記を読んだ立場から報告や話題提供をしました。
(事務局)

<会場のみなさんとのディスカッションの（ほんの）一部を紹介します。>

参加者：長期入院の方への支援はどう考えていますか？

KPメンバー：何ができるのか、むずかしいことです。簡単に答えは出ないけれど、病院と付き合い続けていくことで、なにか長期入院の方とやりとりできないか、…と思います。

参加者：自分も、デイケアに通うものとして、長期に入院しているひとのサポートもしたいと思います。もっと知りたい、デイケアの職員と話し合ってみよう、と思いました。

参加者：家族として思うこと。病棟の環境のことについては、よく分かったが、治療の内容や質のことはどうだろう？もっと知りたいです。KPとして、病院訪問していくことの理念やビジョンはどうなんだろう？もっと治療内容のことにも、きり込んでほしい。

参加者：自分は入院体験で傷つき、人生台無しになったと感じています。KPの取り組みで、もっと病院のなかのこと、入院している患者さんの声をきいてきてほしいです。

参加者：（医療機関の方）もっと患者さんや家族、地域の声をきかねばならないと思いました。

参加者：（医療機関の方）患者の権利のこと、意識している職員、意欲のある職員もいる。病院はもっと改善すべき点もあると思います。

参加者：（医療機関の方）KPの報告会でKPの方々や市民の取り組みをきけて、勇気をもらえた協働したい。

KPメンバー：KPとしてどんなモチベーションで電話相談や訪問活動にかかわっていかうか、あらためて考える機会になりました。今日いろいろな立場のひとの話を聞いて、病院の職員さんの話も聞けて、ものごとには両面があるな、と思えました。

みなさんありがとうございました。



【報告会・意見交換会を終えて ひとこと】

自分にとっての精神科病院とは？と思い返すと、浮かんでくる風景があります。20代の後半、約4年間ある精神科病院の大規模なデイケアに通っていたころのことです。

当時その病院ではデイケアの建物まで行くのに、畑のそばを通るのですが、その畑の周囲にはとてもきれいな草花が生えていました。毎日、その風景の中を歩きながら、「ここはいったいどこなのだろう？」と自問します。当時過ごしていた日々が、それまでの自分の人生から連続しているものだと、どうしても考えられませんでした。

人生の岐路に言いようのない複雑な思いを抱えながら自身のリカバリーに取り組む当事者、大切な家族の一員を祈るような気持ちで精神科医療に託したご家族、職業人生をかけて日夜精神科医療の提供に尽力する医師や専門職…

立場をこえて、多くの人にとり、精神科病院は、一筋縄ではいかないその人ならではの「特別な場」であり、「精神科病院はこういうものだ」と、一般化して断定することはできないのではないかと思います。

世間では、精神科病院は閉鎖的だ、と、しきりに言われます。もしそうであるなら、こちらから病院を訪問できるよう、工夫して取り組んでいこう、とスタートした訪問見学活動です。

KPはあくまで民間の第三者機関であり、行政や司法が持ちうるような「（精神科医療についての）強制力」は何ら持ち合わせていません。

しかし、その「弱さ」のゆえに、訪問した病院で対話を展開することができるのではないかと考えています。

そして、病院訪問見学活動は、見学する対象は病院ですが、広くとらえれば、私たちが当事者として、市民として、どのように精神科医療に、ひいてはメンタルヘルスに向き合っていくか、が問われる活動であり、ひいては、私たち一人一人が、安心して受けられる精神科医療を実現させる主体になる、ことにつながっている、と考えます。

そのためには、KP自体も、多くの人たちが行き交う、活気ある場であることが重要です。今日の会に、さまざまな立場の多くの方が参加くださり、熱気ある意見交換ができたことは、とても有意義であったと思います。

今後とも、KPをよろしくお願いします。

堀合悠一郎



【懇親会のひとこま】



21:00からの懇親会でしたが、20人を超える方にご参加いただき盛り上がりました。まだまだ話足りない……

【アンケートに寄せられた声】

<感想>

- ・ 沢山の方が参加し「対話」がはじまっているとおもいました。これからさらに横のつながり、たてのつながり、斜めのつながりといろいろな方向、よい方向へ向けて展開していくと良いなと思いました。
- ・ 精神科病院のシステム自体はなかなか変わらず、もやもやしますが、そのもやもやを抱えながら進むということですね。その先に見えるのは・・・
- ・ 意見交換会は今後のKPの「伸びしろ」が期待できるものではないかと思いました。
- ・ 病院スタッフのメッセージを聞かせていただくことができたこと、とても貴重でした。
「よくしていきたい」という想いが、穏やかな口調でありながらよく伝わってきました。
- ・ 制度や法律のなかで、少しでもよい治療環境になるように日々取り組んでいます。今後の活動を応援するとともに励みにしたい

<これからの病院訪問に対する要望>

- ・ 対話や意見交換の時間を増やしてほしい、ソーシャルワーカーの話もきいてほしい
- ・ 訪問を受けた病院側の感想も知りたい、病院の工夫も知りたい、

<KPへひとこと>

- ・ 太陽は太陽でも外の光をまぶしく浴びせかけるギラギラした直射啓蒙力の強い太陽になっていただきたいとも願っております。
- ・ 太陽であり続けましょう、対話を続けましょう
- ・ 病院や施設、医療と福祉の潤滑油になってくれることを願っています
- ・ 弱さも“ちから”だと思います

『定例会ってこんな様子です』

〈4月 定例会〉

- 3月の相談について報告
- KPの今年度の活動について意見交換
 - ・ 病院訪問や相談活動が続けられることを目指したい
 - ・ 助成金の活用も検討をしてほしい
 - ・ 横浜だけでなく川崎でも・・・

〈5月 定例会〉

- 4月の相談について報告
- 入院者訪問支援事業について
 - ・ 制度の周知が行き届いていないことがある
 - ・ 予算で、訪問できる回数が限られていることも課題
 - ・ ピアサポーターの活動につながっていくといい
 - ・ ピア活動のきっかけになるといいという感じがある
 - ・ 講習を受けて訪問したが、傾聴がむずかしかったなど

お茶とお菓子を用意して
茶話会のように開催しています！



【サポーターになってください!!】

わたしたち KPの活動（病院の訪問や相談活動、普及啓発事業など）は、サポーターの皆さまからのご支援で成り立っています。
活動を継続していくために、サポーターとしてお力を貸していただければ幸いです。

（2025年4月～2025年5月にご寄付いただいた方）島中さん、矢崎さん、中村さん、吉村さん、栗原さん、寺澤さん、佐藤さん、匿名さん（順不同）
※5周年記念のご寄付もいただきました！
ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



こちらから銀行振込
または
クレジットカードが
えられます。

【ボランティアのつぶやき】

先輩のボランティアの皆さんからあたたかい指導をいただきながら、春から電話相談ボランティア活動をつとめさせていただいています。

相談者の方が気落ちされておられたり、またはお気持ちの高まりを感じたときに、目の前にその方がいるようにさえ思えて、どうすればはげませるか考えたり、気分高揚の方に落ち着いていただくにはどうしたらよいか考えていると、やがて相談者の方が話しをまとめて終了してくださるのです。（カピバラ）

電話相談などで活動して下さっているボランティアさんに日々感じたことをつぶやいていただきます。

【相談活動のご報告】4月～5月

<相談活動の集計と内訳>

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面接	オンライン面談
4月	108件	92件	3件	2件	3件	2件	3件
5月	116件	97件	5件	6件	3件	5件	0件

<新規相談の内訳>

	件数	本人	家族・関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉・その他
4月	8件	4件	4件	7件	1件	0件	5件	3件
5月	12件	4件	8件	11件	1件	0件	4件	8件

KP日誌

《ミニミーティング》

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり、情報共有をしたりして、相談員相互のサポートの話し合いを行っています。

4月25日（金）14名（現地7名、オンライン7名）
5月30日（金）6名（現地4名、オンライン2名）

《定例会》

現地とオンラインのハイブリットで開催しています。
ぜひ、みなさんご参加ください。

4月 18日（金）来場19名 オンライン15名
5月 9日（金）来場23名 オンライン13名

※次回定例会は6月20日（金）18：00～です！



5周年KP応援キャンペーン

KPは、2020年5月16日に設立して、今年で5年を迎えました。
ここまで活動を続けられたのは応援してくださる皆さんのおかげです。
本当にありがとうございます。

5周年の機会に、より多くの人にKPの活動を知ってもらうために
「KP応援キャンペーン」として4回にわたりKPオリジナル動画を見ていただこうと思っています。

まず 第一回は「こんにぴあ、KPです！」と題して、KPの活動内容や、
一緒に活動してくれている皆さんをご紹介します。

https://drive.google.com/file/d/1W7W9DkPNFm6t2Ro612i9ZQBecYebuZhc/view?usp=share_link

ぜひ、身近な方やご関心がありそうな方にシェアをお願いします。

（※動画の視聴期間は6/30までです。）



↑ここからも
ご覧になれます。

【編集後記】

5/23の訪問記報告会・意見交換会が無事終了して、
なんとなくひと段落・・・とはいっても、もう今年度の
病院訪問活動がはじまろうとしています。みなさん
からいただいた声を大切に活動していきたいと
思っています。

大学などからゲストスピーカーや講演の依頼もいただ
いています。5周年記念のイベントも計画中です。ぜ
ひみなさんご参加ください。

発行：認定NPO法人さざなみ会

KP神奈川精神医療人権センター

けいびーかながわせいしんいりょうじんけんせんたー

発行日：2025年6月10日

住 所：〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森6-1-10

事務局電話：080-7372-7432

相 談電話：080-7295-8236

MAIL : kp.kanagawapeer@gmail.com

ホームページ：https://kanagawa-peer.com/

